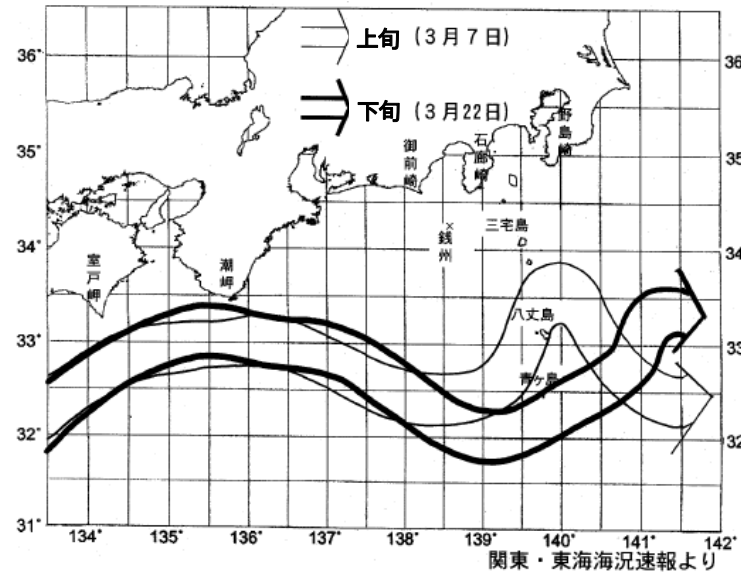


# 漁海況月報

平成29年3月1日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



3月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	14.2	15.3	14.3	14.1	13.5	13.7
	0.7	1.2	0.7	-0.3	-0.7	0.2
中旬	14.2	14.6	14.3	14.2	14.0	13.6
	0.4	0.3	0.4	-0.6	-0.8	-0.3
下旬	14.4	16.3	14.8	14.6	14.3	14.2
	0.3	0.8	0.5	-0.7	-1.0	-0.1
月	14.3	15.1	14.5	14.3	13.9	13.9
	0.5	0.8	0.5	-0.5	-0.8	-0.0

## 【黒潮流路】

3月上旬はB型で、遠州灘沖33°Nから南東に進み、駿河湾南沖から北上し八丈島の北を通過した後再び南下した。中旬はC型で、遠州灘沖33°Nから南東に進み八丈島の南から北上し33.5°Nから再び南下した。下旬もC型で遠州灘沖33°Nから南東に進み、八丈島の南から北東に進んだ。

## 【県下沿岸域】

3月上旬は、伊東、稲取、下田「やや高め」、雲見、焼津「平年並」、沼津「やや低め」であった。

中旬は、伊東、稲取、下田、焼津「平年並」、雲見、沼津「やや低め」であった。下旬は、稲取、下田「やや高め」、伊東、焼津「平年並」、雲見、沼津「やや低め」であった。

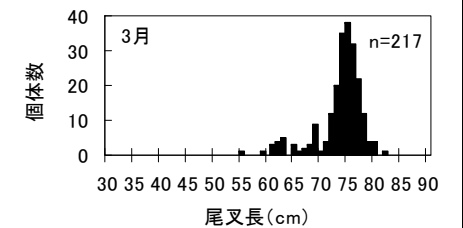
## 【竿釣カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は66トンで前年同月の76%であった。魚価は288円/kgで前年同期を上回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、22°~23°N、145°~148°Eの海域で、特特大(尾叉長74~76cmモード)を主体に特大(尾叉長69~72cmモード)、大(尾叉長61~63cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
29年3月上旬	2	1	2.4	517
中旬	8	1	7.7	447
下旬	56	2	28.1	257
29年3月計	66	4	16.6	288
28年3月計	87	7	12.4	261
27年3月計	153	7	21.8	284



御前崎港における測定結果

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は416トンで前年の同漁場の水揚量(368トン)の1.1倍であった。また、1か統あたりの水揚量は、59.5トンで前年(52.6トン)の1.1倍、平年(昭和57~平成28年の平均54.2トン)の1.1倍であった。水揚量の多い漁場は、川奈漁場(158トン、ブリ、さば類、サワラ)、次いで伊豆山漁場(94.4トン、カタクチイワシ、ブリ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、ブリは218トンで前年比1.1倍、平年比5.2倍と好調であった。銘柄ぶり主体で、銘柄ぶり水揚量は200トン(前年比1.2倍、平年比5.2倍)であった。また、銘柄いなだが6.5トン(前年比5.1倍、平年比17.2倍)と特異的に多く、9割以上が谷津漁場における漁獲であった。カタクチイワシは95.2トンで前年比225倍、平年比1.1倍であった。さば類は43.6トンで前年比32%、平年比1.3倍であった。さば類のうち、ゴマサバは13.6トンで前年比11%、平年比45%と低調であったが、マサバは30トンで前年比1.8倍、平年比4.1倍と好調で、ゴマサバの2倍以上の漁獲があった。なお、マサバは尾叉長34~35cm主体であった。マイワシは20.3トンで前年比36%(前年同月は漁獲無し)であった。マアジは8.8トンで前年比15.9倍、平年比11%と、平年を下回ったものの、前年を大きく上回る漁獲であった。

多獲された魚種の主な漁場は次頁(表)の通りで、ブリは川奈漁場が66%(144トン)、谷津漁場が22%(43.9トン)、カタクチイワシは古網漁場が63%(59.6トン)、伊豆山漁場が26%(24.6トン)、さば類は伊豆山漁場が50%(21.8トン)、古網漁場が16%(6.9トン)、マイワシは伊豆山漁場が98%(19.9トン)、マアジは赤沢漁場が22%(1.9トン)、伊豆山漁場が21%(1.9トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	218	1.1	5.2	川奈、谷津、伊豆山
カタクチイワシ	95.2	225	1.1	古網、伊豆山、北川
さば類	43.6	0.3	1.3	伊豆山、古網、川奈
マイワシ	20.3	—	0.4	伊豆山
マアジ	8.8	15.9	0.1	赤沢、伊豆山、富戸

**【サバたもすくい・棒受網】**

小川漁協所属の棒受網漁船は主にたもすくいでの操業を行ったが、月末には棒受網で操業を行った。水揚量はマサバ352トン(前年同月比28%)、ゴマサバ145トン(前年同月比204%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ8.8トン(前年同月21.6トン)、ゴマサバ3.6トン(前年同月1.2トン)であった。

1kgあたり平均単価はマサバ158円で前年同月(137円)、前月(145円)ともに上回った。ゴマサバは117円で前年同月(110円)、前月(113円)とほぼ同額であった。

漁獲されたマサバの体長組成は尾叉長29cmと35cmにモードを持つ2峰型を示し、それぞれ3歳魚と4歳魚主体であった。ゴマサバの体長組成は29cmにモードを持つ単峰型を示し、1歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
29年3月上旬	189	6	4	13	14.5	0.5	137	135	銭洲、三本
中旬	82	4	4	15	5.5	0.3	307	272	銭洲
下旬	82	135	5	12	6.8	11.2	54	111	三本、三宅近海
29年3月計	352	145	13	40	8.8	3.6	158	117	銭洲、三本、三宅近海
28年3月	1,253	71	58	17	21.6	1.2	137	110	銭洲
27年3月	678	61	12	36	18.8	1.7	119	111	三本、銭洲

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**【サクラエビ船曳網】**

平成29年春漁は3月23日が初漁日で、3月の出漁はこの日のみであった。水揚量は12.7トン、1日1か統あたりの漁獲量は211kgであった(前年同月の操業は無かった)。

初漁日は湾内全体で魚群探索が行われ、主な漁場は焼津・大井川沖であった。

水揚げされたサクラエビの体長組成をみると、体長33~35mmにモードをもつ0歳エビと体長41~42mmにモードを持つ1歳エビの2群で構成されていた。

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁 場
平成29年3月下旬	12.7	1	211	焼津・大井川沖
平成29年3月計	12.7	1	211	—
平成28年3月計	—	—	—	操業なし
平成27年3月計	4.3	2	36	富士川沖、三保沖、焼津沖
平成26年3月計	7.0	1	117	焼津・大井川沖

**【シラス船曳網】**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が197kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が185kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は190kgと前年同期(383kg)の50%、平年同期(過去5か年平均:248kg)の77%と前年同期、平年同期並を下回った。また、総水揚量は88.7トンで前年同期(295.9トン)の30%、平年同期(122.9トン)の72%と、前年同期と平年同期を下回った。平均単価は951円/kgと、前年同期(614円/kg)と平年同期(655円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	1.0	3	12	83	546
舞 阪	6.4	3	112	57	818
福 田	10.7	4	73	147	921
御前崎	28.3	5	54	524	832
吉 田	15.2	5	95	160	1,034
静 岡	27.2	6	120	226	1,087
平成29年3月計	88.7	26	466	190	951
平成28年3月計	295.9	37	772	383	614
平成27年3月計	161.1	28	532	303	598

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成24~平成28年)平均値

**【まき網(いわし類)】**

マイワシの水揚げは、小川港では564.5トン(前年同月比10.0倍、平年同月比4.5倍)、沼津港では1,031.3トン(前年同月比14.6倍、平年同月比4.0倍)であった。静岡港及び伊東港では水揚げは無かった。カタクチイワシの水揚げは小川港では18.1トン、沼津港では1.1トン、静岡港及び伊東港では無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚げは、マイワシが20.3トン、カタクチイワシが96.4トンであった。

\*平年:過去5か年(平成24~平成28年)平均値

**【調査船駿河丸の動向】**

3月 6日	ドック回航	(1日間)
3月 9日 ~ 3月 10日	地先定線観測調査	(2日間)
3月 13日 ~ 3月 14日	イワシシラス調査	(2日間)
3月 16日 ~ 3月 17日	サクラエビ調査(MOHT)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

